

2021年7月1日

ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準（第2版）  
（2021年6月改定）

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟（以下、本連盟）は、2020年10月9日に公表した「ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準」について、「東京2020パラリンピック競技大会の日本代表推薦選手の選考について」（以下、全体の選考規程）の改定に伴い、以下の通りに改定し、ハイパフォーマンス割当枠での代表推薦選手について、本連盟登録会員を対象に、選考委員会において下記の基準に従い選手選考を行い、理事会で承認しJPCへ推薦いたします。

記

**I. 選考対象条件**

下記の条件を共に満たす選手より選考する。

- 1) 2021年度本連盟登録会員であること。
- 2) 2021年シーズン国際パラリンピック委員会選手登録（以下IPC登録）し、ライセンスを取得していること。
- 3) World Para Athletics(以下WPA)の国際競技クラスが確定し、国際競技クラスステータス“New”、“Review”、“Confirmed”のうち、“Confirmed”もしくは“Review”であること。  
なお、国際競技クラスと国際クラスステータスについて次のサイトで確認できます。  
<https://www.paralympic.org/athletics/classification/master-list>
- 4) ハイパフォーマンス標準記録突破期間内(2018年10月1日～2021年6月6日にWPA公認大会においてハイパフォーマンス標準記録を突破した選手。

**II. 選考の方法**

選考は以下の通りを行う。

1. 男女別に順位をつけて選考する。
2. 全体の選考規程に準じて、ハイパフォーマンス枠の選考を行う。既に3名を満たしている種目については、ハイパフォーマンス標準記録を突破している選手がいた場合でも、以降の選考方法を適用しない。  
(例：男子 T52 400m, 1500m において代表選手枠はすでに決定のため、本選考対象種目としない。)

3. 「Ⅲ. 推薦順位算出手順」に従い推薦順位を算出する。
4. 3. で算出された推薦順位を基に、ハイパフォーマンス割当枠数に応じて代表推薦選手を選出する。

### Ⅲ. 推薦順位算出手順

以下の1~5の順に推薦順位を算出する。

1. メダル獲得可能性をふまえ、ユニバーサルリレーチームを編成するために必要、かつ、未だ代表推薦を受けていない選手を推薦する。このチームの構成メンバーについては強化委員会で選出する。
2. メダル獲得可能性をふまえ、マラソン参加資格ランキング4位以内で、かつ参加枠を配分されなかった選手を推薦する。
3. 入賞可能性をふまえ、以下の①および②の大会での各種目順位の上位選手から順に推薦する。

①2019年世界パラ陸上競技選手権大会（2019年11月7-15日開催）

②マラソン参加資格ランキング

また、①および②において同順位の選手が複数いた場合、同種目3位の記録とのギャップを比較し、よりギャップの小さい者を上位とする。

- 3-2) なお、既に開催された2019年世界パラ陸上競技選手権大会に出場しなかった選手らを考慮し、以下の③の大会での記録を2019年世界パラ陸上競技選手権大会の結果に照らし合わせ、その記録に該当する換算順位を添付1の通り算出し、当該選手の①の順位として適用する。

#### ③2021 ジャパンパラ陸上競技大会（2021年4月24日（土）・25日（日）開催予定）

ただし、諸般の事情により、③の大会が2021年6月（日程未定）までのハイパフォーマンスランキング対象期間内に開催されない場合、3-2は適用しない。また、ハイパフォーマンスランキング対象期間内ではあるが、当初の日程ではなく延期開催となる場合、3-2の適用条件について改めて通知を行う。

- 3-3) 複数種目でハイパフォーマンス標準記録を突破している選手に対しては、それぞれの種目で換算順位を算出する。
4. 全体の選考規程に準じて、該当種目内での内定順位が4番目以降である場合、その選手の推薦順位を除外する。（複数種目で推薦順位を持つ選手は、この場合に当てはまる推薦順位のみを除外する。）
5. 複数種目で推薦順位を有する選手は、最も上位を採用し、以降の順位は除外する。

#### IV. その他特記事項

1. 2021年6月にWPAより割当されるハイパフォーマンス割当枠の推薦選手を選考したのち、出場枠がさらに生じた場合は、パラ陸上競技3団体での協議のもと、2024年パリパラリンピック大会以降で入賞が期待できる選手を含めて選考委員会で選考し、理事会で承認しJPCへ推薦する。
2. 登録会員が本選考基準について異議のある場合、本選考基準公表後1週間以内に当連盟事務局まで電子メールにて連絡することができる。異議については理事会で審議し、対応は当連盟HPで公表する。

日本パラ陸上競技連盟事務局電子メールアドレス：[japan-jimukyoku1@jaafd.org](mailto:japan-jimukyoku1@jaafd.org)

以上

(添付1)

## 2019 世界パラ陸上競技選手権大会での換算順位の算出方法について

「Ⅲ. 推薦順位算出手順」の3-2を適用するにあたり、以下の通り、対象大会記録について2019世界パラ陸上競技選手権大会の換算順位を算出する。

### 1. 対象大会

2021 ジャパンパラ陸上競技大会 (2021年4月24日(土)・25(日)開催予定)

### 2. 対象選手

「ハイパフォーマンス割当枠の代表推薦選手選考基準」の「選考対象条件」を満たす選手、かつ、2019世界パラ陸上競技選手権大会、2021ジャパンパラ陸上競技大会の少なくとも一方に出場した選手を対象とする。

### 3. 算出方法

① 次の記録を算出に用いる。

i) 2019世界パラ陸上競技選手権大会各種目の決勝での記録

- ・決勝に進出しなかった選手については、記録なしとする。
- ・ただし、以下の種目については競技実施方法を考慮し、準決勝の記録を用いる  
<男子> T11 100m、T12 100m、T11 400m、T12 400m  
<女子> T11 100m、T12 100m、T11 200m、T12 200m、  
T11 400m、T12 400m

ii) 2021ジャパンパラ陸上競技大会各種目の決勝での記録

- ・決勝に進出しなかった選手については、記録なしとする。

② 各選手の① i) および ii) の記録を比較し、より良い記録を以降の算出に用いる。

一方の記録のみの場合はその記録を以降の算出に用いる。

③ 2019世界パラ陸上競技選手権大会各種目の換算順位を以下の通り算出する。

i) 日本選手は②の記録を、日本以外の選手は2019世界パラ陸上競技選手権大会各種目の決勝での記録を用いる。

ii) i) の記録を並べ直し、新たに換算順位を作成する。

iii) この換算順位にて8位以内となった選手において、当該選手以降の順位に日本以外の選手がいない場合、マイナスインクルールに該当する入賞対象外と判断し、9位相当とする。また、そのような場合の選手が複数名いる場合は、9位より順位をつける。